

昭和36年春季年会（東京）

# 講演予稿集

於 建設省国土地理院  
東大理学部2号館講堂

日本天文学会

# 日本天文学会 1961 年春季年会

## プログラム

- ◇日 時 昭和 36 年 5 月 11 日 (木), 12 日 (金), 13 日 (土)  
 ◇場 所 東京都目黒区 7 の 1,000 建設省国土地理院 (第 1 日)  
 東京都文京区本富士町 1 東大理学部 2 号館講堂 (第 2, 3 日)

|             | 午前<br>(9時より) | ひる   | 午後<br>(1時より) | 夜   |
|-------------|--------------|------|--------------|-----|
| 11 日<br>(木) | 研究発表         | 評議員会 | 研究発表         |     |
| 12 日<br>(金) | 研究発表         | 総会   | 研究発表         | 懇親会 |
| 13 日<br>(土) | 研究発表         | 理事会  | シンポジウム       |     |

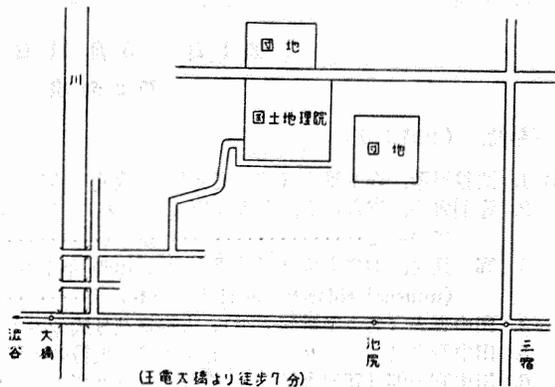
講演予稿集について：特別会員には 1 部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で 2 部以上希望される方は 1 部につき実費 40 円，送料 8 円をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

### 第 1 日会場案内図

- ☆ 第 1 日第 1 会場は別館講堂  
(日本測地学会と共催)
- 第 2 会場は本館 2 階会議室
- ☆ シンポジウム (5 月 13 日  
午後 1 時半より)

芝原鎌一(仏教大学): 一般三  
体問題における qualitative  
theory ……………(90 分)

矢田文太(京大 理): オリオ  
ン星雲について ……(90 分)



**第 1 日 5 月 11 日 (木)**  
**第 1 会 場 (日本測地学会と共催)**

[午前] (9時より)

分

- A 1-10 は日本測地学会プログラム参照
- A 11. 石井 久 (緯度観測所) JJY 報時電波伝播時間について .....10
12. 切田正実, 村上源吉 ( // ): P.Z.T. 乾板膜面の収縮について ..... 5
13. 高木重次 ( // ): 水沢 P.Z.T. により求められた緯度の日週変化について .....10
14. 高木重次 ( // ): 水沢 P.Z.T. 観測より求めた極軌道について ..... 5
15. 高木重次 ( // ): コンパレーター用パイセクト装置の試作について ..... 5
- [午後] (1時より)
16. 高木重次, 角田忠一 ( // ): 水沢 P.Z.T. 星の赤経誤差について ..... 5
17. 須川 力 ( // ): Chandler 周期と地球潮汐の関係について .....15
18. 服部忠彦 ( // ): 単能計算機による極運動解析 .....10
19. 角田忠一 ( // ): マントル内の magnetic torque の子午線成分について .....10
20. 関口直甫 (東京天文台): 地球の液状核と外套部との結合について (III) ..... 6
21. 檀原 毅, 北郷俊郎 (国土地理院): 人工衛星を利用する太平洋地域に於ける測地網連結計画 ..... 7
22. 坪川家恒 ( // ): 光電的タイミング装置をもつ人工衛星追跡カメラについて .....10
23. 飯島重孝, 藤原 清, 酒井照夫, 原 孝 (東京天文台): 長波受信による国際周波数比較 (1) .....12
24. 霜田光一, 河野 昇 (東大理, 東京天文台): 東京天文台新設のメーザー型原子時計について .....10
25. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 時刻観測の局地差について .....10
26. 虎尾正久, 藤井 繁 ( // ): 時刻観測から求めた極運動 ..... 7
27. 広瀬秀雄, 内田正男 ( // ): 人工衛星の同時位置観測による測地問題 .....10
28. 広瀬秀雄 ( // ): 人工衛星による測地法の簡略化について .....10

**第 1 日 5 月 11 日 (木)**  
**第 2 会 場**

[午前] (9時より)

- B 1. 渋谷暢孝, 森本雅樹 (東京天文台): 電波干渉計に使用するアンテナ系について ..... 7
2. 赤羽賢司, 高倉達雄, 森本雅樹 ( // ): 21cm 水素線測定用干渉計について ..... 5
3. 郷 鉄夫, 羽倉幸雄 (電波研究所): 1959 年 7 月の異常現象について (unusual solar-terrestrial events) .....10
4. 田中春夫 (名大空電研究所): 太陽電波 S 成分の干渉計による観測 .....10
5. 田中春夫 ( // ): マイクロ波帯の太陽電波バースト .....10
6. 田中利一郎 (新潟大学): S 成分のメカニズムについて .....10

7. 柿沼正二 (京大理): II型バーストの発生機構について ..... 5
8. 高倉達雄 (東京天文台): 太陽の  $\gamma$  線バーストとマイクロバースト ..... 10
9. 赤羽賢司 ( // ): 電離ガスに関する Rayleigh-Jeans の公式と縦波  
相互間の散乱電波について ..... 10
10. 守山史生 ( // ): 熱輻射電波に対する吸収係数について ..... 10

〔午後〕 (1時より)

- B11. 大城義名, 浜名茂男, 矢島昭一 (東京天文台): electronic isophotometer  
によるフレア-の測定について ..... 10
12. 長沢進午, 清水一郎, 宮沢正英 ( // ): 1960年11月15日のIII+  
フレア-について ..... 10
13. 積田寿久, 鈴木利和, 水垣和夫 ( // ): フレア-の重要度について ..... 7
14. 清水一郎, 野島幸雄, 中込慶光 ( // ): リオ・フィルターによる緑  
輝線コロナ観測 ..... 7
15. 長沢進午 ( // ): 緑輝線コロナと黒点の関係 ..... 10
16. 斎藤国治, 山下泰正 (東京天文台, 東大理): 1958年10月12日の皆既  
日食における太陽コロナの輝度と偏光 ..... 10
17. 日江井栄二郎 (東京天文台): 彩層の連続スペクトル (II) ..... 7
18. 末元善三郎 ( // ): 彩層の構造 ..... 10
19. 神野光男 (京大理): 彩層に於ける水素高準位の熱平衡からの偏倚 ..... 10
20. 川口市郎 (花山天文台): スピキュールの運動について ..... 7
21. 内田 豊 (東大理): 輻射損失を考慮した衝撃波による太陽スピキュールの説明 ..... 7
22. 小平桂一 ( // ): 太陽黒点のブライトリングのモデル ..... 5
23. 牧田 貢 (東京天文台): 太陽黒点のモデル ..... 10

## 第2日 5月12日(金)

〔午前〕 (9時より)

- C 1. 関口直甫, 根道文子 (東京天文台): 模擬月面図との比較による月面地形分  
布の研究 ..... 10
2. 熊谷直一, 花岡敬郎 (京大理): 月面の局所より来る太陽反射光について ..... 10
3. 宮本正太郎 (花山天文台): 火星面地形の気象学的研究 ..... 15
4. 服部 昭 ( // ): 火星表面の温度について ..... 7
5. 松浦 茂, 岩田 稔, 足立 厳, 木村三郎, 今川文彦 (大阪工業試験場,  
京大理): 試作スター・トラッカーについて ..... 10
6. 大沢清輝, 末元善三郎, 石田五郎, 清水 実, 近藤雅之 (東京天文台):  
74 吋反射望遠鏡のハルトマン検査 ..... 15
7. 古畑正秋, 高橋千恵 ( // ): パロマー写真天図より求めた星野の色指数 ..... 7
8. 今川文彦, 清水 壘, 高柳和智 (京大理): 特にA型以降の恒星の二次元分類  
について ..... 7
9. 藤田良雄 (ドミニオン天文台): りょうけん座Y星のスペクトルについて ..... 10
10. 藤田良雄 ( // ): M, S, C 型星の比較研究 ..... 10
11. 上条文夫 (東大理): NEAC 1103 による分光写真乾板整約 ..... 5

[午後] (1時より)

|   |    |
|---|----|
| C12. 佐藤直宣 (東北大理): 12 DD Lac の長週期変光について        | 5  |
| 13. 川畑周作 (防衛技研): 31 Cygni K 星の大気について          | 7  |
| 14. 小暮智一 (京大理): Be 星大気のひろがり電子温度               | 7  |
| 15. 上条文夫 (東大理): 長週期変光星の大気 (III)               | 5  |
| 16. 斉藤澄三郎 (京大理): 金属元素の存在量と吸収線強度               | 7  |
| 17. 竹内 峯 (東北大理): 非断熱脈動                        | 6  |
| 18. 海野和二郎 (東大理): 対流渦のスペクトル                    | 10 |
| 19. 海野和二郎, 加藤正二 (東大理): 対流層からの音の発生 (重力の影響について) | 10 |
| 20. 下小田博一 (愛知学芸大): 天体物理学に於ける乱流及び磁気乱流について (I)  | 10 |
| 21. 下小田博一 ( // ): 天体物理学に於ける乱流及び磁気乱流について (II)  | 10 |
| 22. 大崎 徹 (京大理): 惑星状星雲内熱平衡について                 | 7  |
| 23. 大崎 徹 ( // ): 禁制線放出による冷却凝縮について (II)        | 7  |
| 24. 上杉 明, 山口七郎 ( // ): 白色矮星のモデル大気について (IV)    | 5  |
| 25. 林 正男 (東大理): 重力収縮過程の星のモデル                  | 5  |

第 3 日 5 月 13 日 (土)

[午前] (9時より)

|  |    |
|--|----|
| D 1. 黒沼栄一 (山形大理): クロック・パラドックスの解決で明らかにされた 3 つの重要な事実 | 10 |
| 2. 黒沼栄一 ( // ): 時空の計量的考察にもとづく宇宙進化論                 | 10 |
| 3. 松本一格: 暦の法則と完全暦による現行暦の改革                         | 10 |
| 4. 中野三郎, 安田春雄, 原 寿男 (東京天文台): ゴーチェ子午環の特性と観測         | 10 |
| 5. 下保 茂 ( // ): 八丈島金環日食乾板の再測                       | 10 |
| 6. 竹内端夫 ( // ): 小惑星 (279) Thule の長周期摂動の数値的追跡       | 10 |
| 7. 宮原 宣 (水路部): 平衡点近傍の力学方程式の標準型                     | 10 |
| 8. 進土 晃 ( // ): ケフェイドによる銀河系の大きさについて (II)           | 10 |
| 9. 安田春雄 (東京天文台): 銀河系の力の成分 $K_z$ について               | 10 |
| 10. 高柳和智 (京大理): 準矮星の運動 (I)                         | 5  |
| 11. 江本祐治 ( // ): 恒星の銀河軌道について                       | 10 |
| 12. 菊池定衛門 (東北大理): 星団の拡散又は凝集速度を与える簡単な公式について         | 10 |
| 13. 大脇直明 (水路部): 球状星団の外包 (II)                       | 10 |
| 14. 藤井光昭 (東北大理): 銀河系の腕の楕円柱モデル                      | 10 |

[午後] (1時半より)

シンポジウム